

令和5年2月3日

関係各位様

富士川町長杯・BANDITS 杯争奪 第1回中学生硬式野球大会要項

- 1.主 催 山梨 BANDITS YOUNG
- 2.主 管 山梨 BANDITS YOUNG
- 3.後 援 富士川町 富士川町教育委員会
- 4.開催期日 令和5年3月4日(土)・5日(日)予備日11日
- 5.開 会 式 今年度は新型コロナ感染防止の為、開会式は行いません
- 6.開催場所 殿原野球場・第1球場・第2球場
- 7.試合方法 1日目:3チームリーグ戦(各リーグの順位によって会場が決定します。
2日目:各リーグの1位 殿原球場(閉会式あり)
各リーグの2位 第1球場【旧増穂商業高校】
各リーグの3位 第2球場【下部球場】
- 8.傷害保険に加入済みの選手のみ出場可能、監督、コーチ、役員も同様とする。
- 9.大会規定2022年度「公認野球規則」、「本大会規定」並びに「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」を適用する
- 10.参 加 費 20,000円 ※大会初日、受付にてお支払いください
- 11.参加名簿 選手、監督、コーチの名簿の提出 ※大会初日、受付に提出してください
- 12.審 判 員 各チーム1名の審判員のご協力をお願いします。(1塁・3塁)

宿泊問い合わせ先

株式会社YBST&L 旅行営業部 〒400-8545 山梨県甲府市北口 2-6-10
TEL:055-231-3370 FAX:055-231-3377 e-mail:naito-m@sannichi-ybs.co.jp
携帯電話:080-5867-2671(当日連絡用) 担当:内藤・日原
受付期間 令和5年2月16日(木) ※受付期間終了後の対応も可能です。

富士川町長杯・BANDITS 杯争奪 第 1 回中学生硬式野球大会

- ①チームの選手登録は 11 名以上 25 名以内とする。(試合前審査時 11 名に満たない場合は出場を禁止する。)
- ②選手及び指導者は、傷害保険に加入しているものに限る。
- ③チーム旗及びプラカードを必ず持参すること。
- ④大会出場は登録選手に限り、背番号は必ず登録された番号とする。
- ⑤監督及びコーチは、選手と同じユニフォームを着用する事。
- ⑥登録選手及び登録された監督、コーチ、スコアラーのみベンチに入ることができる。
- 10)捕手は必ずユニフォームの下に防具(ファールカップ)を試合及び練習を問わず着用をすること。
- 12)ヘルメットは 1 チーム 7 個以上同色完全なものを備えること(但し、これとは別にボールボーイ用として人数分のヘルメットを準備すること)。また、捕手用の規定防具(マスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2 組を備えること。
- 13)組合せの若番号が一塁側ベンチ 後番号が三塁側ベンチに入る。
- 14)メンバー表は 3 部作成し、交換時は両キャプテンのジャンケンにより先攻、後攻を決める。審判員が立ち合い投球数制限・可能数を確認する。
- 15)グラウンドの都合で規定が別に設定されている場合はそれに従うこと。
- 16)試合前のシートノックは原則として両チーム 5 分(後攻から)行なうが、進行時間、等により中止することもある。ノックを行う際は、シートノック、サイドノックを問わず、補助員は必ずヘルメットを着用すること。
- 17)メガホンを使用するのは、指導者のみとし、ベンチ持込は 3 個までとする。
- 18)監督、コーチが選手にアドバイスをする時はファールラインのところで行う。なお、ベンチからの移動は駆け足で、速やかに行うこと。
- 19)
- 20)試合中、攻撃側選手に不慮の事故が起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、臨時の代走者を許可する。この代走者は投手を除いた選手のうち、打撃の完了した直後の者とする。
- 21)審判に対して、侮辱、暴力とみなす行為が認められた場合、審判員は即刻退場を求めることが出来る。ベンチ外(応援団席・観客)から同様の場合も球場責任者が審判員と相談し退席を求めることが出来る。
- 22)試合開始予定時間の 60 分前までに到着すること。
- 23)雷雲、雷鳴が発生した場合には球場責任者、審判員の判断で、すみやかに選手を避難させること。
- 27)試合方式

1) 7回戦2時間の制限時間を設け、制限時間を超えて新しいイニングに入らない。7回終了後、同点の場合は勝負が決まるまでタイブレークゲームを継続する。

2) 4回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は4回表終了時）4回10点差以上、5回以降7点差以上の場合コールドゲームとする。

【注】 投手の投球数制限

① 1日最大80球以内とし、連続する2日間で120球以内とする。

④ ①～③を基本原則とするが、打席の途中で制限数がきた場合は、当該打者の打席終了までは投球を認める。

但し、制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。

⑥ ダブルヘッダーの両試合への登板は、2連投(連続する2日間で2試合に相当)としてカウントする。但し、当日の両試合での合計投球数は80球以内とし、前日または翌日の連続する2日間で3試合に登板する場合は、3連投(連続する3日間で3試合に相当)となるので、1試合の投球数は40球以内とする。

【注】 投球数制限

① ボークは投球数としない。牽制球も投球数にはカウントしない。

② 申告敬遠は原則として投球数にカウントしない。但し、申告直前に実際に投げられた投球はカウントする。

③ 雨天、等でノーゲームとなった試合の投球数は、当日の投球数にカウントする。投球日数にもカウントし、連投に関する制限を適用する。

④ 練習試合や別の大会、等を含めて試合日が連続する場合は、一連の投球日と見なす。

タイブレーク

1) 攻撃は一死走者満塁の状態から行うものとする。

2) 打者は前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。

3) 走者は前項による打者の前の打順の者が一塁走者、順次前の打者が二塁走者、三塁走者となる。

4) この場合の代打及び代走は認められる。

5) 投手の投球数を継続して記録し、制限数は厳守すること。

※1試合につきボール3球の提供をお願いします。